

## 2 各研修コースの内容

### (1) プレゼンテーションを使った教材作成

#### ア プレゼンテーション教材の基本的な考え方

本教材は、研修を通して授業で活用できる教材を作成することを目的としている。そのため、使用方法の解説を行うよりも多くの実践事例を提示することと、研修内容そのものをプレゼンテーションソフトを活用して提示することに重点を置いている。

本教材は、一般の解説書のようにすべての機能を紹介し、説明するものではない。あくまでも授業に活用できる使い方を知り、教材の作成方法を知ることによって、教材作成の援助や授業活用の動機付けになることに重きを置いている。

プレゼンテーションソフトの機能すべてを使いこなすための技術の習得ではなく、その機能の中で、授業に活用できるものを選択して取り上げることによって、部分的な技術の習得をすれば、授業に活用できるようになることに重点を置いている。

授業で活用するプレゼンテーションソフトの機能として次のようなものが考えられる。

- ・説明する事項、箇所を強調できること
- ・説明事項の相互関係が容易にわかること
- ・表、グラフ、写真等が表示できること
- ・動きのある表現ができること

これらの機能を中心に研修が進められるようにしている。

#### イ 教材の構成と概要

教材は次の5つから構成されている。

- ・プレゼンテーションとは
- ・教材の作成について
- ・スライドの作り方
- ・実践事例集
- ・スライド作成Q & A

#### 「授業で使える教材作成」

プレゼンテーションソフトの活用方法

1. プレゼンテーションソフトとは
2. 教材の作成について
3. スライドの作り方
4. 実践=事例
5. スライド作成Q&A

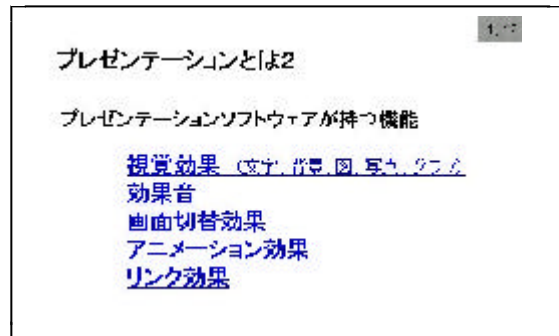
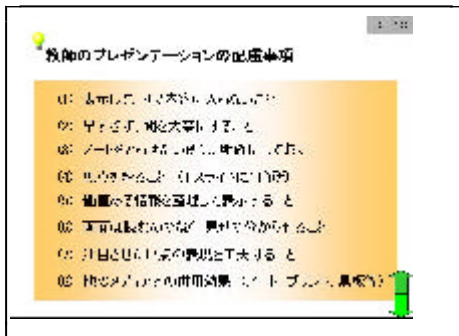
#### (ア) プレゼンテーションとは

前段において学校教育でプレゼンテーションソフトを使用する意義や教材作成上の留意点等を解説している。

後段において、プレゼンテーションソフトの機能の中で、授業で活用できるとされる機能を紹介している。

#### プレゼンテーションとは

1. プレゼンテーションとは(1)
2. プレゼンテーションとは(2)



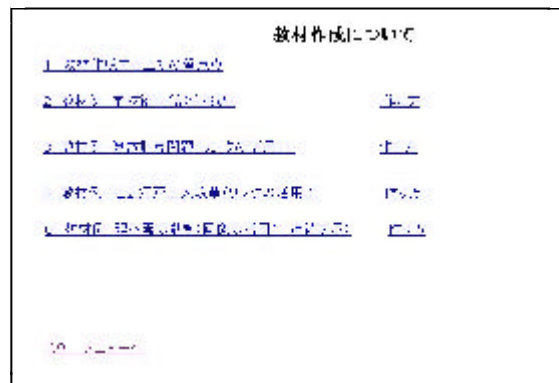
(イ) 教材の作成について

具体的な教材事例として、四つの事例をあげ、プレゼンテーションの実際とその作成方法について解説を行っている。

学校紹介という場面を設定して、アニメーション機能や画面切替機能を利用した教材提示の仕方を紹介している。

ハイパーリンク機能を使って、クイズ形式の出題や歴史問題の解説について紹介している。

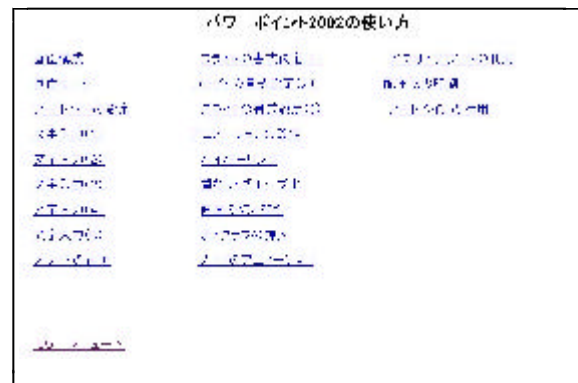
デジタル画像を順次表示し、動きをわかりやすく表示する方法を紹介している。



(ウ) スライドの作り方

ここでは、プレゼンテーションソフト Microsoft R Powerpoint 2002 (以下「パワーポイント」と略記する。)の使い方を22の項目に分けて解説している。

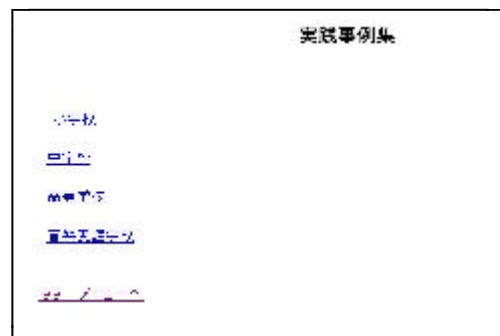
これらの解説は、教材作成の途中で参考として見られるようにそれぞれ独立している。



(I) 実践事例集

実践事例集は、当センターのパソコン・インターネット活用講座（プレゼンテーション編）に参加した府内の教職員が、研修講座の中で作成した作品の中から、事例として紹介することの了解を得た作品を掲載した。

実践事例集として、校種毎に区分し、校種にまたがるものは両方に掲載するようにした。



右図は小学校の生活科で野外観察に出かける前のオリエンテーション用に作成された教材の一部である。この他、中学校の英語科の過去形について解説した教材、タバコと健康について写真やグラフを用いて解説した教材など様々な作品を見ることができる。

また、小学校低学年用にアニメーション機能を生かして物語風に作成した教材例も用意して、教材作りの参考となるようにしている。



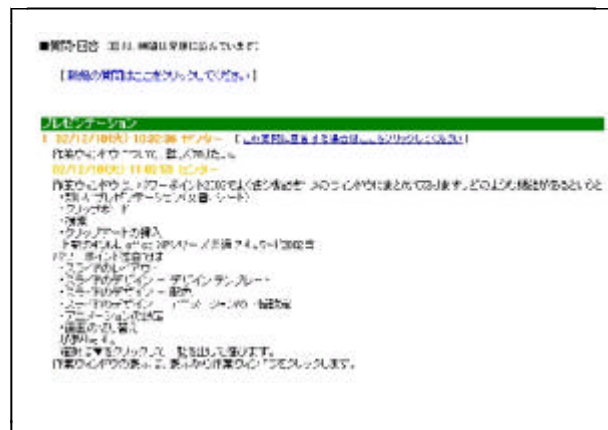
### (オ) スライド作成 Q & A

ここでは、研修を通して出てきた質問と回答を整理して、FAQとして記載し、受講者の便宜を図ろうとするものである。

FAQ (frequently asked question)

利用者からよく寄せられる質問。

通常、回答とセットになって一問一答形式にまとめられている。



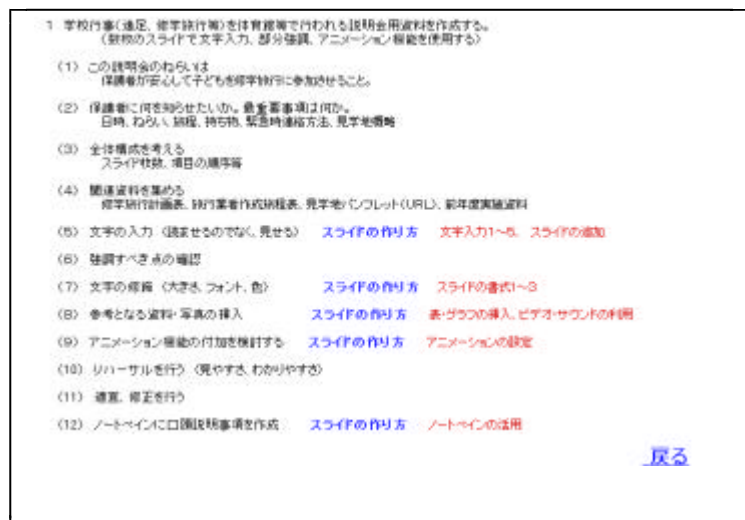
### ウ 課題演習

プレゼンテーションソフトを使った教材作成での課題演習として、次の課題を設定した。

- 1 学校行事（遠足、修学旅行等）について体育館等で行われる説明会資料を作成する。（数枚のスライドで文字入力、部分強調、アニメーション機能を使用する。）
- 2 担当する教科について、授業で活用できる資料を作成する。（アニメーション、リンク、グラフ、図・写真を使用する。）

本研修では、授業の中で使用する教材をプレゼンテーションソフトを使用して簡単に作成することを目的にしているため、課題演習では簡単な教材を作成し、プレゼンテーション機能のもつ便利さを体験することに重点を置いている。

なお、課題演習でのヒントとして、図を表示し、スライドの作り方の項目を指示している。



## エ 研修の自己評価

最終目標がプレゼンテーションソフトを活用した授業の実現であるため、授業内容によってプレゼンテーションソフトの使用する操作技術が異なってくる。この操作技術については習得の順序性はなく、必要に応じて習得すればよい。そのため、研修を通してどのような技術を習得したか確認するために、下図のような自己理解チェック表を用意した。

受講者が視覚的に達成目標を確認できるとともに、サーバでその内容を保存している。

| 「自己理解チェック表」    |                        |      |
|----------------|------------------------|------|
| 段 階            | 進捗及び理解度チェック項目          | チェック |
| S t e p 1      | プレゼンテーションのポイントが分かる。    |      |
| S t e p 2      | レイアウトを選択して新しいスライドが開ける。 |      |
|                | スライドのデザインを選択し適用できる。    |      |
|                | テキストボックスに文字を入力できる。     |      |
|                | 文字のサイズ・フォント・色を設定できる。   |      |
|                | イラスト・画像やグラフを挿入できる。     |      |
|                | 挿入した図表のサイズや位置を設定できる。   |      |
|                | 図形を作成し、文字を入力できる。       |      |
| S t e p 3      | 図形に色や効果を設定できる。         |      |
|                | 編集画面からスライド一覧が表示できる。    |      |
|                | スライドの順序を入れ替えることができる。   |      |
|                | スライドショーが実行できる。         |      |
|                | 画面切替の効果を設定できる。         |      |
|                | オブジェクトに動きを設定できる。       |      |
|                | 動きに合わせて効果音を設定できる。      |      |
| アニメーションを確認できる。 |                        |      |
| S t e p 4      | 授業での使用を想定した教材が作成できる。   |      |
|                | 自作教材をスライドショーで提示できる。    |      |